

## 特別寄稿

### 『宇部市SDGs活動の身近な取り組みと推進センターの開設について』

宇部市 SDGs 推進センター長 小桧山 大介

宇部市は昨年6月 内閣府から  
SDGs 未来都市に認定されました。

11 住み続けられる  
まちづくりを



SDGs とは 2015 年 9 月の国連サミットで  
採択された Sustainable Development  
Goals (=持続可能な開発目標) のことで

2030 年をゴールに「世界が共通して取り組むべき 17 の国際目標」のことです。内容は主に社会・経済 環境という3つの側面を統合的に捉えたもので、「飢餓、貧困、差別のない社会、平和、健康福祉、地球温暖化対策・自然保護、働き方や経済発展など」の問題を解決して最終的に「持続可能な住みやすい街」にする事です。

どれも世界的な課題で、私たちの実生活に関係がないことと感ずるかもしれませんが、実は身近な問題に対応・行動することこそ SDGs に参加することです。

例えばプラスチックごみについてです。最近 奈良公園の鹿が多く死ぬそうです。それは観光客からお煎餅をもらう時 (=取りに行くとき)、一緒にプラスチックごみ袋も食べてしまい、それが胃にたまることが原因とのことです。

先の長野での G20 エネルギー・環境関係閣僚会合でも

ペットボトルなどのプラスチックごみによる海洋汚染が世界的に拡大していることが問題となり、各国で至急対策を図ることが採択されました。

このように持続可能な社会に向け、私たち自らが行動することが「待ったなし!」になりました。私たちが出来ることは「紙ストローを使う・外出時は水筒を持ち歩く・買い物でマイバック持参・夏のクーラーは室温 28 度」など。これこそが持続可能な社会への貢献への第一歩になります。

この 4 月、宇部市は中央町に【宇部 SDGs 推進センター】を開設いたしました。SDGs についての相談窓口、周知啓発 (国内で SDGs を知っている方は僅か 15%) をするのと同時に、数々のセミナーを開催しますので是非ご参加をお願い致します。

SDGs は宇部市の目指す【人財が宝】の街づくりとつながるものです。子や孫の代まで持続して発展が可能な魅力的で豊かな地域づくりを、2018 年度からの第四次宇部市総合計画後期実行計画と SDGs 目標を共有して行い、更に ESD うべ推進協議会の会員の皆様と一緒に目標達成を図りたいと思います。

## 第2回 環境サロン

演題: 循環型社会形成に関する最新の動向について

講師: 樋口 隆哉 先生

(山口大学大学院創成科学研究科建設環境系専攻)

日時: 令和元年 7月26日(金)18:00~20:00

場所: まちなか環境学習館(銀天エコプラザ)

参加費: 200 円(資料代)、高校生以下無料

環境サロンは、身近な環境などの問題について、気軽に学び合い、語り合える場です。ご興味のある方は、どなたでもご参加頂くことができます。申込みは不要です。是非、お気軽に会場にお越しください!

【お問い合わせ: 宇部市まちなか環境学習館 TEL0836-39-8110】

学習室ご利用のみなさん!  
いずれも参加大歓迎です!

7月28日(日)

15:00~

学習館前に集合(道具は不要)

## まちなか おそうじ隊募集!

学習館では、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケード、塩田川、中川等を掃除しています。おそうじの後はお茶会でホッとひと息♪

宇部市環境学習ポータルサイト

「うべっくる」

うべっくる

検索

<http://www.ubekuru.com> [kuru.com](http://www.kuru.com)

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

Facebook や Twitter へも、こちらからアクセスできます。



「ESD うべ推進協議会」活動と私

ESD うべ推進協議会事務局 加藤泰生

平成30年度(昨年)の4月からUKC(宇部環境コミュニティ)活動に何らかのお手伝いができればと、参加したのが運の尽きであろうか、昨年の今頃は、“ESD とは”、との言葉の定義を始め ESD 活動とは…、を問われながらも、ここ1年、ESD の学習・研修に務めてきました。しかしながら活動内容の理解もいまだに判然としない部分もあります。さらには ESD に関連して宇部市がすすめる重大テーマ、“SDGs”活動と、どのように拘っていけばいいのか?など、いまだに暗中模索の連続である。

この春からは ESD うべ推進協議会活動へ新たに参画いただけるよう、会長ら諸兄とともに3団体を訪問したが、うまく説明できないところもあり、緊張した次第です。

時として ESD (持続可能な発展のための教育) や SDGs

(持続可能な発展へのゴール(目標))など英文字の簡略体を振り回してしまい、これらの意味や組織の実態などの説明を逆に求められることがあります。持続可能な発展のための教育とは、私たちが形成するこの社会をよりよく維持成長させるために必要な“空気”づくりではないかと考えます。この社会を構成する多様な“おとなたち”や、未来のこの(とんでもない)社会の主たる構成員になるであろう子供たちへの“環境教育”を通して、生きること、命の大切さなど、理解できる力を育むことが ESD 活動の原点であろうかと、原稿を書きつつ思うところです。教育に難易度をつけてはいけませんが、“鉄は熱いうちに打て”のこゝろに倣うと、教育と実践は、早いうちのほうが容易ではないかとも思います。

ESD うべ推進協議会活動はあくまでも黒子的活動ですが、まさに教育現場との調和を保ちつつ行政のさらなるヒト、モノの支援を仰ぎ展開できれば、事務局長冥利に尽きると考えます。



うべ環境コミュニティ会員



コラム

2019 音楽の祭日 in うべ



「音楽の祭日」と言われても、知らない人が多いと思います。

音楽の祭日とは?

- ① 6月21日(夏至の日)付近に世界各地で開催
- ② ジャンルはもちろん、プロ・アマも問わない
- ③ 入場無料で誰もが自由に音楽を楽しめる

「音楽の祭日」は1982年にフランスで、夏至の日にみんなで音楽を楽しむ「音楽の祭典」として提唱されました。「音楽はすべての人のもの」という趣旨に基づき、演奏者のジャンル、プロ・アマを問わず、誰でもが無料で音楽を楽しめるライブコンサートです。

今では世界各地に広がり、日本では2002年に大阪で初開催以来、日本各地で開催されています。2014年中国地方で初めて宇部市渡邊翁記念会館で開催され、2018年まで5年間、同会場で行なわれました。今年は会場を多世代ふれあいセンターに移して、市民グループで実行委員会を作りました。



エコ市場会場の様子 (2019.6.22)



多世代ふれあいセンターの様子 (2019.6.23)

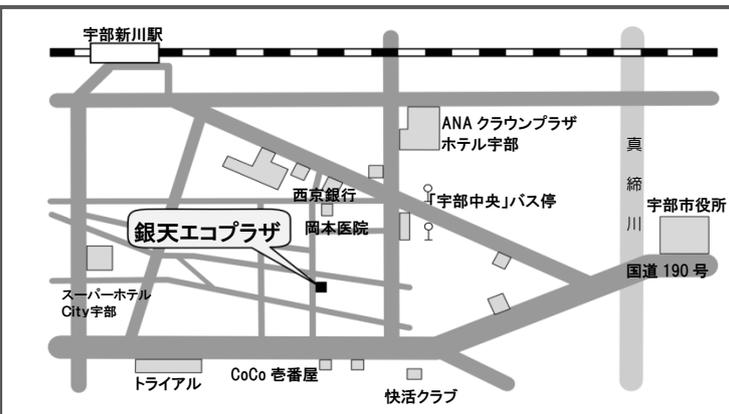


今後は演奏に触れる機会を通して観客を増やし、文化創造活動の出来る人材育成を行うことで、地域の活性化・文化レベルのアップを図って行きたいと思っています。

また、県内各市町に広めて行きたいと思っています。

入場料は無料ですが、任意のカンパ、寄付、協賛金は認められています。ご支援のほどよろしくお願いいたします。

実行委員会 事務局 尼崎安秀



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線:「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス:「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し (近隣の有料駐車場等をご利用ください)

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail ubekankyocom@gmail.com

開館時間 9時~21時 HPアドレス; <http://ubekuru.com/>

休館日 毎週火曜日、年末年始(12月29日~1月3日)